

アバッセたかた専門店街&図書館紹介プロジェクト (アバッセ・プロジェクト)

井上博夫

岩手大学

1 プロジェクトの目的

- ① 学生が被災地を訪れ、現地の人々に取材することを通じて、課題を発見し、自ら解決のための方策を考え、そのために行動する能力を培う。
- ② 学生がチームを構成し、計画の立案、取材の実施、記事の作成等を共同して行うことにより、コミュニケーション能力、交渉力、創造力を培う。
- ③ 他大学の学生と一緒に共同活動を行うことにより、学生間の交流を広げ、相互に成長のための刺激を与える。
- ④ 上記の被災地事業者等に関する取材と情報発信を通じて、まちの復興・再生に貢献する。

2 プロジェクトの概要

(1) 趣旨

津波で壊滅的被害を受けた陸前高田の中心市街地に、2017年4月に大型商業施設「アバッセ」が誕生した。岩手県内各大学の学生がこのアバッセを訪問し、入居した各店舗と市立図書館の「いいところ」や震災前後の「これまでの歩み」を取材・紹介することを通じて、まちの賑わいを応援する。

取 材 先 一 覧

	店舗等名称	業種
1	伊東文具店	文具・書籍・CD
2	100円ショップキャンドウ陸前高田店	100円ショップ
3	スタイル	手芸・婦人服
4	あべや	ファーストフード（たこ焼き）
5	三陸菓匠さいとう高田店	菓子
6	ニコニコキッズランド	アミューズ
7	汐風	ファーストフード（うどん）
8	やぎさわカフェ	カフェ
9	居酒屋膳	飲食・居酒屋
10	ダイニングバーさらり	飲食（ダイニングバー）
11	デイサービス Reborn	通所リハビリ
12	弁護士法人空と海	法律事務所
13	CP サロンピネッド	エステティックサロン
14	菅野音楽教室	音楽教室
15	陸前高田市立図書館	図書館
16	高田松原商業開発協同組合	アバッセの運営組織

(2) 対象学生

「ふるさといわて創造協議会」に参加する岩手県内各大学等の学生を募集した。

岩手大学の1年生については、「初年次自由ゼミナール」（1単位）として実施。

(3) プロジェクトの内容

① 日程

- 10月28日(土)13:00~17:00 事前学習(岩手大学 GB32 講義室)
- 11月4日(土)~5日(日) 陸前高田・現地活動
- 11月25日(土)~26日(日) 陸前高田・現地活動
- 12月3日(日)13:00~17:00 取材のまとめ(県立大学アイーナキャンパス)

② 事前学習

- 陸前高田の復興の歩みと市街地の現状を知る。
- プロジェクトの具体化
 - ・取材チームの編成
 - ・インタビューシートの作成
 - ・取材計画の策定

③ 現地取材(1)

- ・11月4日(土)~5日(日) 陸前高田市
- ・学生5名参加(岩手大学3名、県立大学2名)
- ・教職員(岩手大学2名、県立大学2名)
- ・6店舗取材

④ 現地取材(2)

- ・11月25日(土)~26日(日) 陸前高田市
- ・学生9名参加(岩手大学6名、県立大学3名)
- ・明治学院大学学生2名、岩手大学卒業生1名
- ・教職員(岩手大学2名、県立大学1名、明治学院大学1名)
- ・9店舗取材

⑤ 取材まとめ&発表

- ・12月3日(日)13:00~17:00 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室2
- ・取材記事、写真をもとにブログを作成した。

⑥ 追加取材と今後の活動

- ・12月9日(土) 日程が合わなかった1店舗を、教員2名で追加取材した。
- ・今後の予定
 - 1月 各取材先にブログ原稿を見てもらい、校正する。
 - 2~3月 ブログの公開
 - QRコードの作成と表示(看板及びポストカード)

3 次年度に向けた課題

- (1) アバッセ周辺に開業する個店への取材と情報発信の継続
- (2) 参加大学、学生の拡大
- (3) 単位化に向けた検討

- ・岩手大学では、今年度は「初年次自由ゼミナール」に位置づけたが、1年生後期に限定されるため、1名しか履修者を得られなかった。授業科目上の工夫が必要。
- ・岩手県立大学では、総合政策学部のゼミの学生が自主的に参加してくれたが、授業科目として位置づけることを検討して

はどうか。

- ・他の大学への普及。
- ・今回は明治学院大学が現地参加してくれた（学生2名、職員1名）。岩手県以外の大学との連携も考えられる。

著者紹介

井上博夫：岩手大学名誉教授，専門は財政学。2017年より、岩手大学客員教授として陸前高田グローバルキャンパスを担当している。

所属学校・機関等住所：〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字神田 113-10 陸前高田グローバルキャンパス，
E-mail:hinoue@iwate-u.ac.jp

